

草の根

札幌北区社保協ニュース

発行 北区社保協事務局
 連絡先 762-9085 勤医協
 発行責任者 戸田輝夫

NO.3

2007年6月27日発行



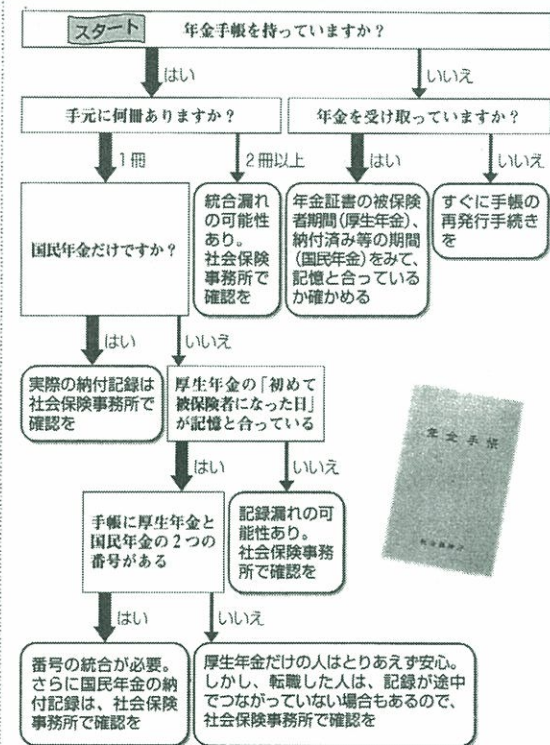
怒りの北区民集会



北区社保協代表・戸田輝夫は、6月12日、「怒りの北区民集会」を開催しました。道民税、市民税、国保保険料、介護保険料が届けられています。その重たい負担に庶民は驚いています。集会では、「住民税負担増とのたたかい」と題して、北海道生活と健康を守る会の佐藤宏和氏が講演をおこない、重税の仕組みと軽減、救済の制度について学習をおこないました。その後、参加者は区内をデモ行進し、市民に重税・負担増反対を呼びかけました。



年金手帳でチェックをしてください



※本図は、自分の手元にあるものを頼りに確認していく方法です。正確には、社会保険事務所で自分の記録を確認する必要があります。図と記載は、社会保険事務士の関谷川子さんの協力で作成しました。本表は、赤旗しんぶん日曜版編集部より、掲載許可をいただいております。

誰のものかわからない宙に浮いた年金記録が五千万件以上ある。社会保険庁は1997年1月に基礎年金番号を導入した際、転職や結婚などで複数の年金番号を持つ人も一人1番号に統合。ところが氏名、生年月日、性別、住所が一致しなかったり、名前前の入力ミスがあったりして統合されないものが多くあり、6年6月現在、5095万1103件。記録が宙に浮いたままでは、年金が受け取れず「消えた」も同然。社保庁の事務処理ミスで本当に消えた年金記録も少なくない。電子化されていない年金記録が1430万件あることも6月に判明。強制的に保険料を徴収しながら、年金記録をずさん

消えた年金・あなたの年金は大丈夫

に管理し、照合を加入者任せにしてきた国に国民の不信感は募る。「消えた年金」記録の照合を1年以内に終わるとして、社保庁解体・民営化を急ぐ政府与党の姿勢はその場しのぎで無責任だ。左の図は、自分の記憶と手帳の記録を突き合わせ、正しく記録されているかどうか確かめるものです。記録漏れの疑いのあるときは、近くの社会保険事務所に問い合わせることが必要です

社会保険庁では、24時間対応の電話年金相談もおこなっています。
 電話 0120(65)7830

